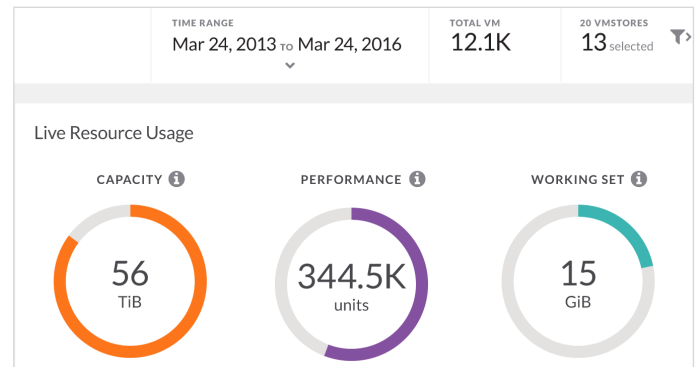


Tintri Analytics

ストレージの容量とパフォーマンスのニーズを的確に予測し、モデル化

皆様は今使用されているストレージ分析ソリューションで、ビジネス ニーズを適切に判断できていますか？個々の仮想化アプリケーションのパフォーマンスを最大限に引き出すために、どのような要件が必要か把握していますか？また、容量やパフォーマンスの限界を正確に予測し、それを回避することができているでしょうか？ティントリの VM に最適化されたストレージ (VAS) を基盤に構築された Tintri Analytics を利用すれば、このようなニーズを判断するための情報をすばやく手に入れることができます。

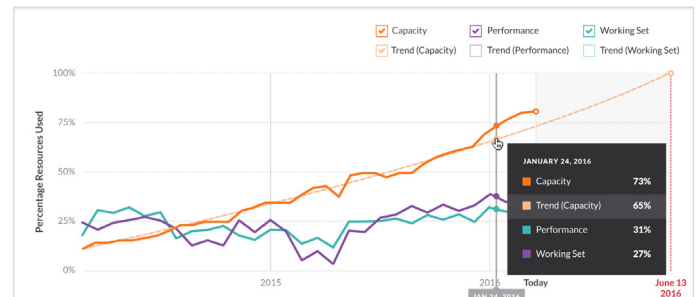
Tintri Analytics は、容量とパフォーマンスの要件をモデル化できる SaaS ソリューションであり、仮想化アプリケーションに関するデータを最大 3 年分にわたって収集することができます。VM レベルのメタデータをマイニングしてその環境に関する情報を収集するため、これをもとに仮想化アプリケーションの実際の動作やニーズを把握し、そのうえで意思決定を行うことができます。また、Apache Spark や Elastic Search などのビッグ データ技術によって、1 秒間に最大 16 万台の仮想マシンのデータが分析されます。これにより、容量、パフォーマンス、スループットを正確にモデル化して、有機的に成長を実現することができます。さらに、デスクトップ、SQL サーバー、データベースなどのアプリケーション プロファイルを作成し、what-if 分析を実行して、仮想フットプリントに対する変更の影響を確認することも可能です。このように、Tintri Analytics では皆様が適切に意思決定を行うために必要な情報をすばやく手に入れることができます。



容量、パフォーマンス、フラッシュのストレージ使用率をひとめで確認できる

計画と予測

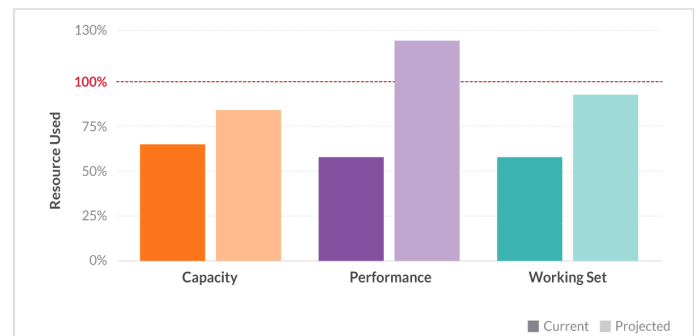
企業におけるニーズは常に変化するものですが、Tintri Analytics を利用すればそうした細かな変化を常に把握できるようになります。Tintri Analytics では今から 6 か月間の容量とパフォーマンス上のニーズを的確に予測できるため、これを利用してアプリケーションの種類をプロファイリングし、アプリケーションの数や動作の変更がストレージのフットプリントに与える影響をモデル化することができます。Tintri Analytics を利用すれば、次の四半期におけるニーズをほんの数分で把握できます。これまでのように、根拠の薄い予測に頼ったり、何時間もかけて計画を練る必要はありません。



アプリケーションの過去 3 年間のデータをもとに、今後 6 か月間のニーズを的確に予測できる

アプリケーション インサイト

Tintri Analytics ではわずか数クリックでアプリケーション プロファイルを作成することができます。また、仮想デスクトップ、SQL サーバー、Oracle データベースなどの容量やパフォーマンスの使用状況もすべて簡単に把握できます。プロファイルの詳細を表示すれば、平均から大きく外れている仮想マシンを特定することも可能です。また、アプリケーションの追加を依頼された場合にも、推測や運頼みで展開を行うのではなく、影響を正確にモデル化し、十分な情報に基づいて依頼に対応できるかどうかを判断できます。



ストレージに関する将来的なニーズをシミュレーションして、要件を的確に判断できる

Tintri Analytics なら、数回のクリック操作で簡単にリソースを管理して計画を立てられるため、これまでの手間を大幅に解消できます。

たとえば、次のような点もすばやく正確に把握できます。

現在のリソース使用率の傾向は？	現在の容量、パフォーマンス、ワーキング セットの使用状況をダッシュボードで確認できます。
環境の成長傾向は？	成長の傾向やリソースが不足する時期を調べたり、容量、パフォーマンス、スループットがクリティカルパスに含まれているかどうかを把握できます。
どのリソースがよく消費されているか？ 平均を大きく外れている仮想マシンがあるか？	アプリケーション プロファイルを作成して、特定のアプリケーションのリソース使用率を確認できます。また、プロファイルの詳細を確認して、平均から大きく外れている仮想マシンを特定し、特に注意を注ぐようにすることができます。
2 四半期にわたり、新たに 300 名の従業員を雇用する場合、 どのリソースを追加する必要があるか？	VDI アプリケーション プロファイルを使って、VDI 300 シートを追加した場合の負荷をシミュレーションします。これにより、容量、パフォーマンス、スループットへの影響を正確に把握し、シートの追加に必要なリソースをすばやく判断できます。

Tintri Analytics の 5 つのメリット

- VM 単位でデータを分析し、推測することなく的確にストレージの成長度を見える化できます。
- 特定のアプリケーションの容量、フラッシュのフットプリント、パフォーマンスをモデル化できます。
- 複数のハイパーバイザーに対応しています。
- 直感的に操作できる応答性に優れた UI を採用しています。
- what-if シナリオのシミュレーションを行い、将来的なビジネス ニーズを把握できます。

従来のストレージ分析ソリューションが抱える 5 つの問題点

- LUN とボリューム レベルのデータに基づいて予測が行われないため、入出力データが無駄になります。
- 容量ベースでしか分析が行われていません。
- VMware vSphere にしか対応していません。
- 応答性の低い UI が採用されています。
- アプリケーション レベルで計画することができず、見せかけのサポート ツールしかありません。

CIRRITY

「当社の環境は常に変化していますが、サービス プロバイダーという立場上、お客様のワークロード計画をきちんと把握できないこともあります。ティントリの予測分析を利用したところ、これまでのように推測に頼るのではなく、VM を完全に見える化することができました。容量とパフォーマンスの使用状況の推移を UI で正確に把握できるだけでなく、さまざまなシナリオを簡単にモデル化することが可能です。その結果、お客様が SQL サーバー 100 台の追加を希望する場合に、その増加分の負荷に既存のインフラストラクチャーで対応できるのか、それともインフラストラクチャーを拡張すべきなのかを 1 分ほどで判断できるようになりました。この強力な分析機能のおかげで、さらに質の高いサービスをお客様に提供できるようになりました。」

Cirrity 社、社長兼 CTO、Dan Timko 氏